

正案ノ何レニヨルモノナリヤ大要電報アレ

二〇四 十二月十八日 在米国珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

上院全院委員会ハ「バーネット」移民法案ニ
字句ノ修正ヲ加ヘ尚討議繼續中ナル旨報告ノ
件

第四六九号

貴電第三五一号ニ関シ上院ハ前会期ヨリノ引続キトシテ曩
ニ上院移民委員会ノ修正セル「バーネット」案ヲ十二月九
日其ノ全院委員会ノ議ニ附シ委員会修正部分ニ対シ字句ノ
再修正ヲ加ヘタルカ更ニ討議ヲ繼續スヘク議方試験規定削
除ニ関スル動議ヲ提出セラルル模様ナリ

二〇五 十二月十八日 在米国珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

米国上院ニ於テ審議中ノ「バーネット」移
民法案ノ字句訂正方ニ付國務長官ト会談ノ件

第四七〇号

往電第四六九号ニ関シ十二月十日ノ委員会ニ於テ本年三月
三十一日附機密第一号附属丙号第七頁十五行ニ関シ

事項六 日米仲裁裁判条約ノ有効期間延長ニ関スル協約

二〇六 二月二十二日 在米国珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

米国上院ハ日米仲裁裁判条約更新協約ヲ協賛
シタルニ付請訓ノ件

第六五号

二月二十一日上院ハ日米仲裁裁判条約(四十一年)更新協
約ニ協賛ヲ与ヘ同時ニ西国英國諸威瑞典葡萄牙瑞西伊太利
ノ七ヶ国ノ協約ニモ協賛ヲ与ヘタリ

右ニ関シ國務長官ヨリ何等交渉アルヤモ計リ難キ処日米仲
裁裁判条約(四十一年)ノ消滅時期經過後ノ今日ナルヲ以
テ特別ノ措置ヲ要スルコト考ヘラル、ニ付何分ノ儀御電
訓乞フ

二〇七 二月二十五日 牧野外務大臣ヨリ
在米国珍田大使宛(電報)

各国ノ対米仲裁裁判条約更新協約ノ取扱方ニ
関シ問合ノ件

附記一 日米仲裁裁判条約更新協約御批准奏請ニ関シ枢

六 日米仲裁裁判条約ノ有効期間延長ニ関スル協約 二〇六 二〇七

treaties or ト読上クヘキヲ何故カ(單純ナル読ミ誤ナリ
ト認メラル)削除読上ケ異議ナク可決セラレタル結果下院
通過案ニ復シタルコトナレリ依テ十二月十一日本使ハ國
務長官ヲ往訪シ右ノ事實ヲ指摘シ協議ノ結果國務長官ハ即
時 unless otherwise provided for by existing treaties,
or by passport agreements ト修正方ヲ希望スル旨ノ書
翰ヲ上院移民委員長ニ送り次テ談合ヲモ遂ケタリ尚右ノ外
本年二月二十七日附機密第四号拙信附属乙号舌代第二ノb、
cニ付テモ國務長官ニ注意シ置ケリ

註1 珍田大使ノ三月三十一日附機密第一号附属丙号
「バーネット」移民法案 第七頁第十五行左ノ通
unless otherwise provided for by existing treaties or
agreements as to passports.

2 舌代第二ノb、cニ付テハ前出珍田大使三月十三日發
電報第八七号ノ参照

密院書記官長意見

二 「条約ノ更新ニ就イテ」

第七二号

貴電第六五号ニ関シ今回上院ニ於テ協賛ヲ与ヘタル英國外
六ヶ国ト米國トノ更新協約ハ何レモ既ニ時機經過後ナルコ
ト恰カモ日米更新協約ト同様ナリト思考セラルルニ付他ノ
諸國ニ於テ異議ナキ以上ハ此際客年往電第一九八号ノ見解
ヲ強テ主張スルコトナク「ブライアン」氏ノ解釈通り帝國
政府ニ於テ客年六月二十八日調印ノ日米更新協約ノ御批准
ヲ奏請スルコトニ詮議致スヘキカト考フ就テハ上記諸國ト
米國トノ間ノ更新協約ニ関スル模様電報アリタシ

(附記一)

日米仲裁裁判更新協約御批准奏請ニ関シ密院書

記官長意見

本件ニ付二月二十五日(大正三年)密院書記官長ノ意見ヲ質シ
タル処(書記官列席)本更新協約ハ素ト大正二年八月二十四
日ヨリ向フ五年間有効ノ旨条約第一条ニモ記載シアリテ右

二十四日前ニ批准交換ヲ予期シ居リタルモノナルコトハ明白ナリ從テ今日ニ於テハ新ナル條約ヲ以テスルコト至當ト信ス然レトモ今回米國上院ハ英國外六ヶ國トノ日本ト同様ノ更新協約ヲ批准シ而シテ該諸國カ日本ト同一ノ狀態ニアリ且何等異議ナク右批准交換ヲ為ス以上ハ日本モ之ニ倣フテ可ナルヘク又珍田大使ニ於テモ新ナル條約トスルコトヲ不都合ト感セラルルニ於テハ曾テ調印ノ日米更新協約ヲ其儘批准交換シテ可ナリト思考ス將又右ノ如ク批准交換スルトシテ其ノ交換ノ日ヨリ昨年八月二十四日マテ溯リテ効力ヲ有スルヤハ解釈上議論アルヘキモ此レハ孰レニセヨ實際上何等価値ナキ議論故重キヲ置クニ足ラサルヘシ

(附記二)

「條約ノ更新ニ就イテ」(外務省政務局調)

普通稱シテ條約ノ更新ト云フモ此内ニハ全然異ナリタル二種ノ意義ヲ包含ス其一ハ既締結條約ノ有効期限ノ延長ヲ意味シ其二ハ該條約効力ノ復活ヲ指ス故ニ第一義ニ使用セラレタル更新ハ條約ノ効力存続中ニ非サレハ之ヲ為スコト能ハサルニ反シ第二義ノ更新ハ條約ノ効力消滅シタル場合ノミ行ハルルモノトス

以上ハ多數國際法學者ノ承認スル區別ニシテ之ニ基キ日米仲裁裁判條約更新ノ性質ヲ研究センニ更新協約ハ客年六月二十八日ヲ以テ日米兩國委員間ニ記名ヲ了シタルカ故ニ若シ之ニ對スル批准カ仲裁裁判條約ノ効力消滅期限タル客年八月二十四日以前ニ交換セラレタルニ於テハ之ニ依リテ國際法學者ノ所謂延長 (prolongation) 行ハレタルモノナリ更新協約締結者ノ意思モ亦実ニ本條約ノ延長ヲ為スニ在リタルモノニシテ該協約ノ前文ハ能ク之ヲ証明ス然ルニ批准ハ右期限前ニ交換セラレサリシカ故ニ仲裁裁判條約ハ八月二十四日ヲ以テ其効力ヲ失ヒ此日以後日米兩國ハ該條約ノ復活 (renouvellement, réintégration) ヲ為スヲ得ルモ延長ヲ行フ能ハサルニ至レリ復活ハ旧條約ノ一部又ハ全部ニ付之ヲ為スヲ妨ケス独仏戰爭後千八百七十一年十二月十一日ノ追加條約第十八條ヲ以テ独仏兩國カ戰爭ニ依リテ効力ヲ失ヒタル數條約ヲ復活シタルハ即チ全部ノ復活ニシテ而シテ客年六月二十八日調印ノ日米仲裁裁判條約更新協約カ今回批准交換ヲ了スルニ至ラハ日米兩國ハ之ニ依リテ仲裁裁判條約ヲ復活シタルモノニシテ該協約ハ其日ヲ以テ効力ヲ生スヘシ唯之ヲ締結シタル當時ノ意思延長ニアリシカ

(Le Traité du 4 mars 1853..... est renouvelé et

confirmé de commun accord, et toutes ses stipulations sont remises en vigueur et force, comme si le susdit traité était inséré verbatim dans la présente Convention) 第二条ハ千八百五十三年條約ノ第十五條及第十六條カ一時的規定ニシテ既ニ存在ノ目的ヲ失ヒタルカ故本協約ニ依ル復活事項ヨリ除外セラルヘキ旨ヲ規定セリ

三、千八百三十六年四月八日ニ調印セラレ千八百三十九年十二月七日ニ批准交換ヲ了シタル仏國「ウルグエー」間修好通商予約第四条ハ本予約ハ批准交換ノ日ヨリ確定條約締結實施ノ時迄効力ヲ有スヘキモ若シ確定條約カ本予約批准交換ノ日ヨリ十五年間締結セラレサル場合ニハ本予約ハ無効ニ歸スヘシト規定シ而シテ右ノ期限タル十五年ヲ經過スルモ確定條約締結セラルルニ至ラス千八百三十六年ノ予約ハ効力ヲ失ヒタルカ兩國ハ千八百五十五年七月二十日ノ協約ヲ以テ其効力ヲ千八百五十八年十月八日迄復活スヘキヲ約シ更ニ千八百六十五年七月七日ニ至リ新ナル協約ニ依リ千八百六十七

故ニ其前文ノ字句稍々妥當ヲ欠クモ之レカ効力ノ發生時期ト其存続期間ニ就テハ毫モ疑義ヲ生スルノ余地ナシ國家ハ相互ノ合意ニ依リ各般ノ條約ヲ締結スルコトヲ得延長ト云ヒ復活ト呼フモ畢竟在來ノ條約ヲ其儘利用シテ新タニ正文ヲ草スルノ勞ヲ省略セントスルニ外ナラスシテ其本体ハ在來ノ條約ヲ其儘又ハ一部ノ變更ヲ以テ更ニ兩國間ニ締結セント欲スルニ外ナラサルカ故ニ在來ノ條約カ其効力ヲ失フ前後ニ從ヒ之ヲ延長シ或ハ復活スルハ毫モ妨ケナキ所ナリ

既ニ効力ヲ失ヒタル條約ヲ復活シタル実例

一、英國ノ慣例ハ戰爭當然ノ結果トシテ交戰國間ノ條約ヲ悉ク消滅セルモノト看做スカ故ニ千七百八十九年仏國革命以前歐洲諸國ハ各戰爭ノ終リニ必ス「ウトレヒト」條約ノ復活ヲ宣言スルヲ例トセリ (Sir Travers Twiss, Law of nations, peace, 252)

二、仏國及「パラグエー」ハ千八百五十三年三月四日ノ通商航海條約ヲ千八百六十二年八月九日ノ協約ニ依リテ復活セリ此協約ハ其前文ニ於テ明カニ千八百五十三年ノ條約カ千八百六十一年一月三十日ニ消滅シタル旨ヲ記シタル後第一条ニ於テ此條約ヲ復活スルト同時ニ

六 日米仲裁裁判条約ノ有効期間延長ニ関スル協約 二〇八

年七月七日迄之ヲ復活シタリ當時予約ノ既ニ消滅シ居タルコトハ六十五年ノ協約第一条ニ於テ (la convention préliminaire est de nouveau mise en vigueur et maintenue dans tous ses effets) ト規定セラレ居ルニヨリテモ明瞭ナリ此他該協約第二条ハ沿海貿易権ヲ自国船舶ノ為メニ留保シ且接境貿易ニ関スル特殊取扱ニ対シテハ最惠国約款ヲ援用スルコト能ハストノ制限ヲ設ケ此二事項ニ付予約ニ修正ヲ加ヘタリ四、千八百五十六年五月三十日巴里平和条約第三十二条戦争前交戦国間ニ存在シタル条約又ハ約定カ新ナル取極ニ依リテ復活又ハ新訂セラルルニ至ル迄輸出入貿易ハ戦争前有効ナリシ規則ニ從ヒ互ニ取扱ハルヘシ五、千八百六十六年八月二十三日「ブラーグ」平和条約第十三条

戦争前締約国間ニ締結セラレタル一切ノ条約及約定ハ其性質上独逸聯邦解消ノ為メニ効力ヲ失ハサル可カラサルニ至リタルモノヲ除キ本条約ニ依リテ其効力ヲ復活スヘシ (tous les traités sont remis en vigueur par le présent traité.....)

批准書交換方在本邦米国大使ヨリ申出並批准交換済ノ国名問合ノ件

第一二六号

日米仲裁裁判条約更新協約ニ関シ米国大統領ノ批准書今般在本邦米国大使館ニ到着シ右交換方同大使ヨリ申出アリタル処米国ト英国其ノ他ノ諸国トノ間ニ先般調印セラレ且日米ト同様ノ内容ヲ有スル更新協約ニシテ既ニ批准書交換ヲ了シタル国ハ貴電第八九号ノ外猶ホ他ニアリヤ責任国政府ニ御問合ノ上電報アリタシ

二一〇 五月一日 在米国珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

批准交換済ノ国名回報ノ件

第一二六号

貴電第一二六号ニ関シ西班牙国英国伊国諸威国及瑞西国ハ既ニ批准交換ヲ了セリ

二一一 五月五日 加藤外務大臣ヨリ
大隈總理大臣宛

日米仲裁裁判条約更新協約御批准奏請ノ件

附屬書 右上奏案

六 日米仲裁裁判条約ノ有効期間延長ニ関スル協約 二一〇

二〇九

六、千八百七十一年五月十日「フランクフルト」条約ノ追加約定(同年十二月十一日締結)第十八条

千八百七十一年五月十日ノ講和条約ニ記載シタル国際協約ノ外締約国ハ戦争以前ニ仏国ト独逸諸邦トノ間ニ存在シタル各種条約及約定ノ効力ヲ復活ス (remette en vigueur) ヘキトヲ約ス云云

二〇八 三月十七日 在米国珍田大使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

各国ノ対米仲裁裁判条約更新協約ニ関シ回報ノ件

第八九号

貴電第七二号ニ関シ伊太利大使及英國大使館員ハ伊米及英米仲裁裁判条約ハ何レモ其儘批准セラルルナラント思考ス又日米仲裁裁判条約ト同一内容ノ瑞米仲裁裁判条約ハ瑞典国ニテハ昨年八月二十九日米国ニ於テハ本年三月二日之ヲ批准シ三月六日批准交換ヲ了シタルカ旧瑞米仲裁裁判条約ノ有効期限ハ昨年八月十八日満了シタルモノナリ

二〇九 五月一日 加藤外務大臣ヨリ
在米国珍田大使宛(電報)

附記 法制局會議覽

大正三年五月五日

政機密送第五五号

明治四十一年五月五日華盛頓ニ於テ調印ノ現行日米仲裁裁判条約ノ有効期間延長ニ関スル協約締結ノ儀客年六月十三日附閣議決定指令ニ基キ珍田大使ヘ訓令ノ結果同月二十八日同大使ト米国國務卿トノ間ニ別冊寫ノ通日英兩文ノ協約本書ニ調印ヲ了シ候尤モ右批准交換ノ場所ハ交換ヲ為ス便宜上之ヲ東京ト改メタル次第ニ有之且本協約ノ批准ハ米国ニ於テハ元老院ノ協賛ヲ經ルコトト相成居候ニ付帝國政府ニ於テハ右元老院ノ協賛アリタル上ニテ御批准奏請ノ手續ヲ為スコトト相成居候

米国元老院ニ於テハ日米仲裁裁判条約ノ更新ニ関シ何等異議ヲ有セサリシモ當時英米仲裁裁判条約ノ更新ニ対シ巴奈馬問題ノ關係上有力ナル反对者アリ然ルニ独リ英米条約ノミヲ後廻シトナシ他国トノ条約ヲ先決スルハ穩カナラサル為メ自然日米其ノ他ノ分モ未決ノ状態ニアリシ処本年二月二十一日同国元老院ハ本件日米仲裁裁判更新協約ニ協賛ヲ与フルト同時ニ英、西、諸、瑞(典)、葡、瑞(西)、伊ノ

二一一

二七一

七ヶ国ノ更新協約ニモ協賛ヲ与へ候結果米國大統領ハ本件日米仲裁裁判更新協約ニ批准ヲ与へ其ノ批准書今般在本邦米國大使館ニ到達シ可成速ニ批准書交換ヲ了シ度旨同大使ヨリ申越候猶ホ前記諸國中葡國ヲ除ク外ハ既ニ批准書交換ヲ了シ候趣ニ有之候就テハ右協約御批准奏請ノ儀ニ付別紙ノ通上奏致候条可然御取計相成度玆ニ右協約日英兩文本書写四部相添此段申進候也

註 別紙日、英兩文協約印刷冊子省略

(附屬書)

上奏案

日米仲裁裁判条約有効期間延長ニ関シ大正二年六月二十八日亜米利加合衆國華盛頓ニ於テ同國駐節帝國特命全權大使カ合衆國國務卿ト共ニ署名調印シタル協約御批准アラセラレ候様仕度別紙御批准書案相添此段謹テ奏ス

大正三年五月五日

外務大臣男爵 加藤高明

(別紙)

御批准書案

天佑ヲ保有シ万世一系ノ帝祚ヲ踐メル日本國皇帝(御名)

ルハ少シク穩当ナラサルヤノ疑アリ

併シ乍ラ右ハ既ニ英國其他ノ諸國モ異議ナク批准ヲ了シタルニ依リ之ヲ先例ト見做スコトヲ可得又内容ニ於テモ四十年ノ条約文ヲ其儘玆ニ引用シテ其ノ効力ヲ更ラニ數年間有セシムルコトニ就テハ何等兩國間ニ誤解ナキモノナルニ付批准可然

以上ニ決定シテ解散

右為參考記錄ス

二二二 五月七日 加藤外務大臣ヨリ
在米國珍田大使宛(電報)

仲裁裁判条約更新協約ノ効力發生時期並米國

及諸外國間更新協約ノ狀態ニ関シ問合ノ件

第一三一号

日米仲裁裁判条約更新協約御批准奏請中ノ処枢密院御諮詢ニ際シ左ノ点予メ兩國政府ノ解釈一定シ置クノ必要アリ就テハ貴任國政府ニ御確メノ上至急電報アリタシ

一 第一条中八月二十四日ハ重複スル様見ユル処右ハ旧条約ハ二十三日全一日ヲ經過スレハ終了シ(二十四日ニ至レハ最早其ノ効力ヲ失フノ意味)更新協約ハ二十四

六 日米仲裁裁判条約ノ有効期間延長ニ関スル協約 二二二

此ノ書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

朕日米仲裁裁判条約ノ有効期間延長ニ関シ大正二年六月二十八日亜米利加合衆國華盛頓ニ於テ締結セラレタル協約ヲ閱覽点檢シ之ヲ嘉納批准ス

神武天皇即位紀元二千五百七十四年大正三年 月 日東京宮城ニ於テ親ヲ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名國璽

外務大臣男爵 加藤高明

註 右ハ大正三年五月十九日批准セラレタリ

(附記)

日米仲裁裁判条約更新協約御批准ノ件ニ付法制局

會議覺

大正三年五月七日

法制局參事官 末松、阿部、広瀬ノ三氏

外務省 松田書記官出席

本件ハ既ニ客年閣議ヲ經テ調印済ノモノ故内容其ノ他ニ付テハ再議ヲ要セサルモ四十一年ノ仲裁裁判条約ハ客年八月二十四日終了シ今日ニ在リテハ既ニ消滅ニ歸シタルモノナルニ付 extended and continued... (第一条ノ末文) トア

日午前零時ヨリ其ノ効力ヲ有スト解スヘキヤ

二 第二条中本協約ハ批准書交換ノ日ヨリ其ノ効力ヲ有ストアルモ今回批准書ヲ交換スルニ於テハ右協約ノ効力

ハ既往ニ溯ルモノト解スヘキヤ

尚ホ一九〇八年及一九〇九年ニ於テ米國ト諸國トノ間ニ仲裁裁判条約ヲ締結シタルモノ日米ノ外二十アリ右ノ中貴電第六五号記載ノ諸國竝仏國ノ外ハ更新協約ニ関シ如何ニナリヲルヤ大要電報アリタシ

(欄外註記)

「備考 本電ハ五月七日枢密院事務所ニテ有松書記官長、

清水、入江兩書記官小池局長相会シ本件審査ノ結

果發電ノ必要ヲ認メタルモノ也」

二二三 五月八日 在米國珍田大使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

更新協約効力發生時期及各國ノ更新条約批准

狀況ニ関シ回報ノ件

第一三七号

貴電第一三一号ニ関シ

(一)及(二)トモ米國政府ハ御見解ト同一ノ解釈ヲ有ス

二二三

二七三

(三)更新条約批准交換済ノ諸国ハ仏蘭西、英國、諸威、西班牙、瑞典、瑞西、伊太利批准交換未済国ハ日本、墺地利、和蘭、葡萄牙「バラグエー」未タ更新セサル諸国ハ支那、丁抹、墨西哥、規定上更新ノ必要ナキ諸国ハ「コスタリカ」、「ハイチ」、秘露、「サルヴァドル」、「エクアドル」及伯刺西爾ナリ

註 右ノ趣ハ五月九日小池政務局長ヨリ有松英義樞密院書記官長宛通報セラレタリ

二二四 五月十一日 江木内閣書記官長ヨリ
松井外務次官殿

日米仲裁裁判条約更新協約御批准ニ関シ樞密院本會議開會通知ノ件

附記一 日米仲裁裁判条約ノ有効期間延長ニ関スル協約審査報告(樞密院)
二 樞密院ニ於ケル議事覚

大正三年五月十一日

江木内閣書記官長(印)

松井外務次官殿

通牒

一 日米仲裁裁判条約(明治四十二年五月五日)ノ有効期間延長ニ関ス

右謹テ審査ノ結果ヲ報告ス

大正三年五月九日

樞密院書記官長 有松英義

樞密院議長公爵 山県有朋殿

(附記二)

樞密院ニ於ケル議事覚

五月十三日開會、加藤大臣及小池局長説明ノ為出席

一、本會議前同院下調ヘノ會議ニ於テ顧問官ヨリ今回ノ御批准ノ後ルルニ至リタル理由ノ質問アリ大臣及局長ヨリ從來ノ關係ヲ説明ス顧問官中ニハ今日迄御批准後レ既ニ原仲裁裁判条約ノ効力一時断絶シタル以上ハ更ニ独立ノ条約ニ調印スヘク本件ハ必スシモ是非結フ必要ハナカルヘシトノ意見モアリ又米英間ノ更新ノ後レタル理由ノ質問アリ依テ巴奈馬運河通航料ノ点ヲ珍田大使ノ來電ニ基キ答弁ス尚都筑顧問官ハ日本カ仲裁裁判ヲ求ムルモ實際ハ人種の偏見等ノ為到底公平正当ナル裁判ヲ受クルコトハ六ヶ敷ト考ヘラルル故政策トシテハ仲裁裁判条約ヲ結フコトハ考ヘモノナリトノ意見ヲ述ヘタリ次テ本會議ニ移ル

六 日米仲裁裁判条約ノ有効期間延長ニ関スル協約 二二五

ル協約御批准ノ件

右來ル十三日(水曜日)午前十時樞密院會議被開候間当日委員參院ノ儀例ノ通取計相成度候

(附記二)

日米仲裁裁判条約ノ有効期間延長ニ関スル協約審査報告(樞密院)

謹テ今回御諮詢ノ日米仲裁裁判条約ノ有効期間延長ニ関スル協約ヲ審査スルニ本案ハ從來兩國間ニ施行シ來リタル仲裁裁判条約ヲ其有効期間満了後更ニ五年間有効ノモノト為サムトスルモノニシテ別ニ支障ノ点アルヲ認メスト雖トモ唯本案ハ昨年六月二十八日兩國全權委員ノ署名調印ヲ了シタルモノナルニ拘ラス米國側ノ事情ニ由リ条約ノ失効期限前即チ昨年八月二十三日迄ニ批准ヲ得ルコト能ハスシテ今日ニ至レルモノナルヲ以テ本案ノ施行セラルルニ至ラハ既ニ一旦効力ノ消滅シタル条約ヲ復活シ其効力ヲ既往ニ溯及セシムルコトトナルヘシ然レトモ条約ノ性質上之カ為メ別ニ実害ノ生スル虞ナキノミナラス今般米國カ他ノ諸外國ト締結シタル同種ノ協約モ同一ノ結果ヲ生スルモノナレハ本案ハ此儘可決セラレ然ルヘキモノト思料ス

二、本會議ニ於テ陛下出御小池局長本件成行調査ニ基キ從來ノ成行ヲ述フ、何等異議ナク可決ニ決定ス

二二五 五月十一日

加藤外務大臣ヨリ
大隈總理大臣宛

日米仲裁裁判条約更新協約御批准書交換ノ御

委任狀奏請ノ件

附屬書 右上奏案

附記 御委任狀英訳文

政機密送第五六号

客年六月二十八日華盛頓ニ於テ調印ヲ了シタル日米仲裁裁判条約更新協約御批准方奏請ノ件ニ関シテハ本月五日附政機密送第五五号ヲ以テ申進置候処右御批准書ハ東京ニ於テ交換スルコトニ相成居候ニ付前記協約御批准ノ上ハ右御批准書交換ノ御委任狀御下附相成候様致度仍テ別紙ノ通上奏候間可然御取計相成度此段申進候也

(附屬書)

上奏案

客年六月二十八日華盛頓ニ於テ調印ヲ了シタル日米仲裁裁判条約更新協約ノ御批准書ハ東京ニ於テ交換スルコトニ相

成居候ニ付右御批准書交換ノ全権ヲ臣高明ニ御委任相成候様仕度別紙御委任状案相添此段謹テ奏ス

大正三年五月十一日

外務大臣男爵 加藤高明

(別紙)

御委任状案

天佑ヲ保有シ万世一系ノ帝祚ヲ踐メル

日本国皇帝(御名)此ノ書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

朕茲ニ日米仲裁裁判条約ノ有効期間延長ニ関シ帝国ト亜米利加合衆国トノ間ニ締結シタル協約ノ批准書ヲ交換スルノ全権ヲ朕カ外務大臣正三位勲一等男爵加藤高明ニ付与ス
神武天皇即位紀元二千五百七十四年大正三年 月 日東京宮城ニ於テ親ヲ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名 国璽

内閣総理大臣伯爵 大隈重信(副署)

註 右御委任状ハ五月十九日附ヲ以テ下付セラレタリ

(附記)

御委任状英訳文

YOSHIHITO,
(Translation)

Countersigned: Shigenobu Okuma,
Prime Minister.

二二六 五月十八日 大隈総理大臣ヨリ
加藤外務大臣宛

日米仲裁裁判条約更新協約御批准ノ件御裁下
アリタリ件

内閣外甲第二四号

大正三年五月十八日

内閣総理大臣伯爵 大隈重信(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

通牒

日米仲裁裁判条約(明治四十一年
五月五日調印)ノ有効期間延長ニ関スル協
約御批准ノ件上奏ノ通裁可相成候

二二七 五月十九日 加藤外務大臣ヨリ
大隈総理大臣宛

日米仲裁裁判条約更新協約公布方閣議請求ノ件

附屬書 右公布案

政機密送第六〇号

本件協約御批准方ニ関シ去十三日枢密院ノ御諮詢相済本日

六 日米仲裁裁判条約ノ有効期間延長ニ関スル協約 二二六

By the Grace of Heaven, Emperor of Japan and seated on the Throne occupied by the same Dynasty from time immemorial,

To all to whom these Presents shall come, Greeting!

We do hereby invest Baron Takaki Kato, Shosammi, Grand Cordon of the Imperial Order of the Rising Sun, with full powers to exchange the ratifications of the Agreement extending the duration of the Arbitration Convention between Japan and the United States of America.

In witness whereof, We have hereunto set Our signature and caused the Great Seal of the Empire to be affixed.

Given at Our Palace in Tokyo, this nineteenth day of the fifth month of the third year of Taisho, corresponding to the two thousand five hundred and seventy fourth year from the Coronation of the Emperor Jimmu.

(Sign Manual.)

Seal
of
Empire.

御批准相成候ニ付不日東京ニ於テ御批准書交換ノ手筈ニ有之候就テハ右交換相済候ニ於テハ其ノ旨可及通報候ニ付本協約公布方子メ御詮議相成候様致度別紙公布案相添此段及請議候也

(附屬書)

条約公布案

朕枢密顧問ノ諮詢ヲ經テ大正二年六月二十八日亜米利加合衆国華盛頓ニ於テ締結セラレタル日米仲裁裁判条約ノ有効期間延長ニ関スル協約ヲ批准シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

大正三年 月 日

内閣総理大臣伯爵 大隈重信(副署)

外務大臣男爵 加藤高明(副署)

註 右ハ批准書交換ノ行ハレタル五月二十三日附ヲ以テ五月二十七日附官報条約欄ニ於テ日米仲裁裁判条約ノ有効期間延長ニ関スル協約(条約第三号)及御批准書ト共ニ掲載セラレタリ協約ノ全文ニ付テハ日本外交文書大正二年第三冊事項七参看ノコト

二一八 五月二十三日 松井外務次官ヨリ
江木内閣書記官長宛

二二七 二二八 二七七

日米仲裁裁判条約更新協約批准書交換済通知

ノ件

附 記一 日米仲裁裁判条約更新協約批准書交換始末覚

二 右批准書交換ニ関スル外務省告示第五号

三 右批准書交換証書

政送第一四二号

本件協約公布方ニ関シテハ去十九日附政機密送第六〇号ヲ以テ加藤外務大臣ヨリ大隈総理大臣宛予メ閣議請求致置候次第有之候処右協約御批准書本日交換相済候ニ付テハ可成速カニ右公布相成候様致度此段申進候也

(附 記二)

日米仲裁裁判条約更新協約批准書交換始末覚

日米仲裁裁判条約更新協約批准書交換ハ米国大使館ト電話ニテ打合セノ上大正三年五月二十三日(土)午前十一時半米国大使 George Wilkins Guthrie 氏大使館参事官 Bailly-Banchard 氏帯同参省加藤大臣小池局長列席大臣ト大使トノ間ニ批准書交換ヲ了シ予テ打合セノ上調成シ置キタル批准交換証書ニ署名調印ヲ了セリ
調印ノ封緘ハ当方ハ御大喪中ナルニ付黒蠟ヲ用ヒタリ米大

八日華盛頓ニ於テ締結セラレタル協約ノ批准書ハ本月二十三日東京ニ於テ之ガ交換ヲ了セリ
大正三年五月二十七日

外務大臣男爵 加藤高明

註 右告示ハ日米仲裁裁判条約ノ有効期間延長ニ関スル協約ヲ公布シタル五月二十七日附官報ノ告示欄ニ掲載セラレタリ

(附 記三)

日米仲裁裁判条約更新協約ノ批准書交換証書 (一) (一)

(一) 日本側保有ノ証書

PROTOCOL OF EXCHANGE

The undersigned Plenipotentiaries having met for the purpose of exchanging the ratification of the Agreement signed at Washington on the 28th day of the sixth month of the second year of Taisho, corresponding to the 28th day of June, one thousand nine hundred and thirteen, between Japan and the United States of America, extending for a further period of five years the arbitration convention of the fifth day of the fifth month of the forty-first year of Meiji, corresponding to the fifth day of May, one thousand nine hundred and eight, and the ratifications of the

使モ黒蠟ヲ用ユル旨申出テタルニ付同シク黒蠟ヲ用ヒタリ又大臣ハ印形持参ナカリシニ付記録課ニアル「外務大臣印」ナル官印ヲ押捺セリ

本協約ノ公布ハ二十四日ヨリ二十六日マテ大喪儀ノ為メ廢朝ノ結果官報休刊ニ付二十七日ノ官報ニテ公布スルコトニ内閣書記官ト打合セタリ

又二十三日批准書交換ヲ了スルヤ新聞社通信社ヨリ協約本文ノ写ヲ請求セリ依テ之ヲ与フルコトニ決定シ二十三日午後夫々与ヘ済
配布ノ向左ノ如シ

霞俱樂部ヨリ請求ニヨリ和文三十二部英文三部 (Japan Times, Japan Advertiser, International News Agency)

右ノ外 Japan Mail (英文一部) (電報通信ノ小野田ノ請求ニヨリ) Associated Press-Sharky (徳川秘書官ヨリ英文一部)

(附 記二)

外務省告示第五号

日米仲裁裁判条約ノ有効期間延長ニ関シ大正二年六月二十

Agreement aforesaid having been carefully compared and found exactly conformable to each other, the exchange took place this day in the usual form.

IN WITNESS WHEREOF, they have signed the present Protocol of Exchange and have affixed their seals thereto.

Done at Tokyo this 23rd day of the fifth month of the third year of Taisho, corresponding to the 23rd day of May, one thousand nine hundred and fourteen.

(L. S.) Takaaki Kato

(L. S.) George Wilkins Guthrie

(一) 米國側保有ノ証書

PROTOCOL OF EXCHANGE

The undersigned Plenipotentiaries having met for the purpose of exchanging the ratifications of the Agreement signed at Washington on the 28th day of June, one thousand nine hundred and thirteen, corresponding to the 28th day of the sixth month of the second year of Taisho, between the United States of America and Japan, extending for a further period of five years the arbitration convention of the fifth day of May, one thousand nine hundred and eight, corres-

六 日米仲裁裁判条約ノ有効期間延長ニ関スル協約 二一九

pending to the fifth day of the fifth month of the forty-first year of Meiji, and the ratifications of the Agreement aforesaid having been carefully compared and found exactly conformable to each other, the exchange took place this day in the usual form.

IN WITNESS WHEREOF, they have signed the present Protocol of Exchange and have affixed their seals thereto.

Done at Tokyo this 23rd day of May, one thousand nine hundred and fourteen, corresponding to the 23rd day of the fifth month of the third year of Taisho.

(L. S.) George Wilkins Guthrie
(L. S.) Takaki Kato

二一九 五月二十三日 加藤外務大臣ヨリ
在米田珍田大使宛(電報)

更新協約ノ批准書交換済通報ノ件

第一四一号

日米仲裁裁判条約更新協約ハ今二十三日午前本大臣ト米田大使トノ間ニ御批准書ノ交換ヲ了セリ

二二〇

二八〇

二二〇 七月十四日 加藤外務大臣ヨリ
在蘭国佐藤公使宛

日米仲裁裁判条約更新協約ヲ国際事務局ヘ送

付方ノ件

政送第五二号

仲裁裁判条約ヲ国際事務局ニ送付方ノ件ニ関シ貴地常設評議會議長ヨリ依頼ノ趣客月十七日附公第二八号ヲ以テ御申越相成候処前報告後右ニ関シ報告ヲ要スルモノハ日米間ニ過般批准書交換ヲ了シタル別紙印刷ノモノノミニ有之候ニ付右事務局ヘ送付方可然御取計相成度此段申進候也

追テ右ハ本年五月二十三日東京ニ於テ批准交換ヲ了シ且日英両文共ニ原書ニ有之候条右様御承知相成度此段申添候也

註 別紙日米仲裁裁判条約更新協約(日本文、英文)省略ス

事項七 米田提議ノ国際平和委員会設置条約關係

二二一 一月二十六日 在蘭国佐藤公使ヨリ
牧野外務大臣宛

蘭米間国際審査条約送付ノ件

附屬書 一九一三年十二月十八日調印ノ蘭米間国際審査

条約正文写

附記一 大正三年四月二十四日在米田珍田大使宛發牧野

外務大臣宛電報第一〇三号

國務長官ノ国際平和維持ニ関スル考案ノ綱領
發表ニ関シ報告ノ件

二 大正二年六月十日附珍田大使宛發牧野外務大臣

宛機密公第三二二号

米田政府提議ノ平和維持案ニ関スル件

三 米田政府提議ノ国際平和維持案ニ関スル成行

摘要

公第六号 (二月十三日接受)

大正三年一月二十六日

在蘭

特命全權公使 佐藤愛磨(印)

外務大臣男爵 牧野伸顯殿

七 米田提議ノ国際平和委員会設置条約關係 二二一

客年十二月十八日米田華盛頓ニ於テ蘭米兩國全權委員ノ間

ニ調印ヲ了シタル国際審査条約一昨二十四日当国官報ニテ

發表セラレ候ニ付其全文別紙ノ通及御送附候間御査閱相成

度右条約ハ「ブライアン」氏ノ提唱ニ係ル所謂 Peace plan

ニ基クモノニシテ米田南米諸國トノ間ニハ既ニ數個ノ同

種条約成立シ居レルモ歐洲ノ一國トノ間ニ調印ヲ見タルハ

和蘭ヲ以テ嚆矢トナス趣ニ有之候尚本条約ニ付過日当国外

務一当局者ノ本使ニ内話セル所ニ依レバ米田側ヨリハ紛争

事件調査ノ進行中ハ相互ニ軍備ノ擴張ヲモ為サザル旨ヲ規

定セムト提議シタルモ反テ蘭國側ノ不同意ニ因リ成立ニ至

ラザリシ趣ニ有之候右御参考迄ニ申添ヘ候 敬具

(附屬書)

一九一三年十二月十八日調印ノ蘭米間国際審査条約

正文写

(Copy)

(Nederlandsche Staatscourant, 24 Januari 1914, No. 24.)

Her Majesty the Queen of the Netherlands and

二八一